



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第57号

2019年5月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さんの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」を目指します。

【基本方針】

- 一 国が担うべき政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 二 呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 三 開放型・地域医療支援病院として地域医療の質の向上および地域連携の充実に貢献します。
- 四 臨床研究・臨床試験に積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献します。

【患者の権利と義務】

◇患者さんの権利

1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
3. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 治療法を選択できる権利があります。
5. 病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
6. 個人情報を守られる権利があります。
7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。



◇患者さんの義務

1. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
2. 検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
3. 他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。

目次

2. 新任のご挨拶
呼吸器内科医師 佐々木 誠悟

リハビリテーション科新体制の紹介
理学療法士 橋本 昌樹
3. 開放型病院20周年記念講演の開催
経営企画室長 九鬼 勝彦
4. 外来診療担当表

新任のご挨拶

呼吸器内科医師 佐々木 誠悟



平成31年4月1日より赴任してまいりました呼吸器内科の佐々木誠悟です。当院に赴任する以前は、田辺市にあります南和

歌山医療センターに勤めておりました。

3年前には非常勤で週に1回外来診療をさせていただいておりましたので、懐かしいような気もしております。子供の頃には一時期当院に通院していた時期もあり、何か縁を感じます。

これまで赴任に伴い転居のため和歌山県内の様々な地域に居住してきました。どこの地域にも

それぞれ魅力がありました。これからはこの土地で新たな魅力を見つけながらこの地域の医療に従事していきたいと思っております。

当院には呼吸器内科医が多くおりますので、ご指導頂きながら、閉塞性疾患やびまん性肺疾患、肺癌など幅広い分野で呼吸器診療に携わっていきたいと思っております。

どの疾患にも言えることですが、肺癌においては特に早期発見、早期治療が重要ですので定期的な健康診断は是非きちんと受けるようにしましょう。

これといった趣味はありませんが、食べるのが好きなのでおいしいお店を是非教えて頂ければ幸いです。肥満傾向なのでヘルシーなお店だとさらに嬉しいです。

リハビリテーション科新体制の紹介

理学療法士 橋本 昌樹

リハビリテーションとは、病気や怪我、老化現象等の様々な原因によって生じた心身の障害に対し、その状態が元に戻り、支障なく生活が送れるように療法を行うことを示します。また障害を治すだけでなく、障害を持った人が障害と上手く寄り添いながら、残存能力を最大限に引き出し、より良い人生を送ることができるよう支援を行っていくこと、不活動に伴う廃用症候群の予防等もリハビリテーションの一環になります。

リハビリテーションに関わる専門職には、理学療法士 (PT:Physical Therapist)、作業療法士 (OT:Occupational Therapist)、言語聴覚士 (ST:Speech-Language-Hearing-Therapist) があります。

理学療法士は、運動療法・徒手治療・温熱療法・電気治療等の物理的手段を用い、日常生活を送る上で基本となる動作（起きる、座る、立つ、歩く）能力の獲得を目指します。また身体機能（筋力や関節の動き、バランス等）を補うための補助具（杖や装具）の選択や調整等も行い、日常生活を安心して送れるように支援をする役割があります。

作業療法士は、作業を通じて応用的動作能力（食事・排泄・更衣・整容・入浴等）、社会適応能力（労働・公共機関を利用等）の回復を目指します。また、身体機能面だけでなく、精神面のサポートや回復にも関わります。

言語聴覚士は、病気や加齢により言葉での意思疎通が困難になった人に対して療法を行い、日常生活でコミュニケーションがとりやすくなるよう



に支援をします。また、食べる・飲み込むことが困難になった人に対し、様々な飲み込みのための療法を行います。口から安全に摂取できるよう、食事の姿勢や介助方法、適切な食事形態を検討することも重要な役割の1つです。

当院リハビリテーション科では、各療法士が主に呼吸器疾患、神経難病、脳血管疾患、重度心身障害を呈する方々のリハビリテーションに従事しています。今年度より、3名の療法士を増員し、理学療法士5名、作業療法士3名、言語聴覚士1名の計9名体制で、院内リハビリテーション業務の拡充に取り組んでいます。また当科は、チーム医療への積極的な参画と各療法士の専門性の発揮を掲げており、最近では各科のスタッフと協力しながら、患者様の安心かつ安全な退院に向けての取り組みを院内外で実施しています。今後、地域の人々の安心感のある生活や地域の活性化につながるような役割を担っていくことも、地域を大切に考えるリハビリテーション科の目標の1つです。

開放型病院20周年記念講演の開催

経営企画室長 九鬼 勝彦



平成31年2月16日(土)16時より開放型病院講演会を開催しました。今回の開催で20周年を迎えることが出来ました。これも偏に、医師会、各医療機関、開業医の先生方並びに地域住民の皆様のご支援があったのでございます。この場を借りまして御礼申し上げます。

さて、今回の記念講演は、和歌山県立医科大学附属病院 外科学第一講座 西村 好晴先生にお越しいただき、「急性大動脈解離の外科治療の進歩」と題し、開催しました。当日はあいにくの曇り空でしたが、診療所の先生方をはじめ、院内外から33名の参加をいただきました。

西村先生のお話は、私のような素人でも大変わかりやすく、興味深く拝聴することが出来ました。大動脈解離という病気は、血管の内膜等が裂けてしまうことから激痛を伴い、大きくA型とB型に分類され、A型の場合は特に緊急性が増します。1時間で1%生存率が下がると言

われており、素早い救急対応が必要となるとのことでした。また、大動脈解離で亡くなった有名人では石原裕次郎さんや、最近では大杉漣さんが亡くなっているとのことでした。

最新の治療としては、血管内にステントグラフトという、金属の骨格構造を持つ特殊な人工血管を血管内に挿入し、胸部を切開せずに疾患部位まで運搬、拡張させ血液が流れるトンネルとして留置することで、血液が流れるようにする方法もあるようです。

なかなか予兆を発見しづらい病気と言うことでしたが、少しでも違和感があったときは、問い合わせしてほしいとのことでした。もし、皆さんがそのような場面に出会ったときは、119番していただけたらと思います。

最後に、当院は、国立病院機構の病院として、ますます地域医療への貢献を推し進めて参りたいと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



院長挨拶



日高医師会長挨拶



		月	火	水	木	金
外科	心臓血管外科	—	岩橋 正尋	—	岩橋 正尋	—
	乳腺・呼吸器外科	—	川嶋 沙代子/ 太田 文典	—	川嶋 沙代子/ 太田 文典	太田 文典
呼吸器センター	初診	東 祐一郎	南方 良章	東 祐一郎	小野 英也	川邊 和美
		—	高倉 敏彰	佐々木 誠悟	—	—
	再診	駿田 直俊	小野 英也	—	赤松 啓一郎	佐々木 誠悟
	専門外来 (午後)	—	—	睡眠外来 駿田(再診)	禁煙外来 赤松 啓一郎 (第2・4・5週)	睡眠外来 駿田(初診)
—		—	COPD外来 担当医	—	—	
循環器内科		川邊 哲也	—	川邊 哲也	岡村 英夫	岡村 英夫
内科		駿田 直俊	南方 良章	川邊 哲也	—	川邊 和美
脳神経内科	午前	—	—	河本 純子 (第2・4週)	—	河本 純子
		—	—	竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	竹村 学 (初診) 診察日は*を参照	—
	物忘れ外来 (午前)	—	河本 修 (第2・4週予約のみ)	—	—	—
	午後	萬 翔子	—	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照	—

○受付時間 午前8:30～11:30

○再診については原則、予約制にしております。
(急患についてはこの限りではありません)

*注意: 脳神経内科 竹村医師の診察予定日

2019年

5月15日、16日 6月19日、20日 7月17日、18日
8月21日、22日 9月18日、19日 10月16日、17日
11月20日、21日 12月18日、19日

ボランティア募集!



例えば・・・外来案内、創作(フラワーアレンジメント・押し花等)、図書(読み聞かせ・貸出等)



独立行政法人国立病院機構 **和歌山病院**

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

広報委員会

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://wakayama-hosp.jp/>